

麦秋

[1951年 松竹(大船)]

[スタッフ]

脚本	野田高梧
脚本・監督	小津安二郎
撮影	厚田雄春
照明	高下逸男
録音	妹尾芳三郎
音楽	伊藤宣二
美術	浜田辰雄

[出演者]

間宮紀子	原節子
兄 康一	笠智衆
田村アヤ	淡島千景
康一の妻 史子	三宅邦子
父 周吉	菅井一郎
母 志げ	東山千栄子
矢部たみ	杉村春子
息子 謙吉	二本柳寛
安田高子	井川邦子
田村のぶ	高橋豊子
間宮茂吉	高堂国典
西脇宏三	宮口精二
佐竹宗太郎	佐野周二

(白黒／スタンダード／モノラル(濃淡型)／125分)

「ストーリーよりも輪廻とか無情を描きたいと思った」とは小津安二郎の監督自身の言葉である。娘の結婚と、父母の郷里への隠棲でゆるやかに崩壊していく大家族、その別れの過程が小津監督独特の豊かなユーモアと厳密なスタイルで、あたかも自然のように描かれている点に特徴がある。これは戦後に脚本家、野田高梧とのコンビを復活させ、以後遺作まで二人の共同作業を続けさせることとなった『晩春』(1949)の主題をより広く展開したものであり、個々の人物が多彩になったぶん、作品世界の陰影が豊かになっていると言えるだろう。笠智衆、三宅邦子、菅井一郎、東山千栄子らがはまり役とも言える人物造型を見事に演じるとともに、杉村春子は息子の再婚相手に原節子を迎え狂喜する母親の姿を、絶妙な呼吸と身のこなしで表現してみせた。「余白を残す芝居」を心掛けたと言う小津監督の演出の妙は、繰り返し見るごとに明らかとなるだろう。物静かな表面を支える作品の底が厚いのである。「キネマ旬報」ベストテン第1位。